

泉大津市健康づくり推進条例施行に伴う
いずみおおつ健康食育計画の見直しと新たな目標値の設定について（案）

1. 今回の目的について

泉大津市健康づくり推進条例が、令和5年4月に施行となり、今後、本条例に基づいた施策を展開していきます。本条例は、いずみおおつ健康食育計画で掲げてきた「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」を基本理念としつつ、未病予防対策先進都市をめざし、「健康状態の見える化」、「学びの場の充実」、「食育の推進」、「多様な選択肢」の4つの取り組みを中心に、従来からの生活習慣病対策と官民連携・市民共創による新しい健康づくり対策を展開していくこととしています。

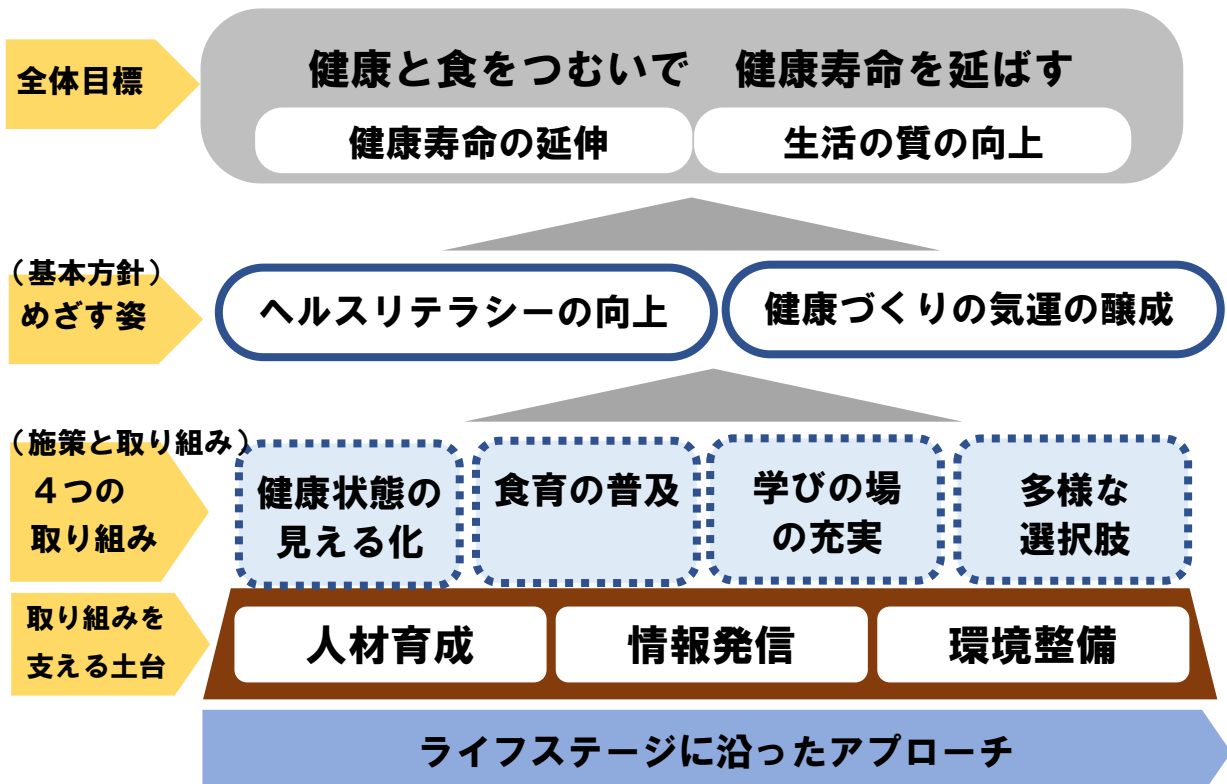
そのため、条例の施行に伴い、いずみおおつ健康食育計画について、計画の基本的な方向を見直すとともに新たな目標値を設定し、計画の残り期間の施策・事業展開に反映させていくことを目的とします。

2. 計画の基本的な方向

1) 基本理念

誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり
～未病予防対策先進都市をめざして～

2) 全体目標と取り組みの方向性（概念図）



3) 基本的な考え方

健康づくり推進条例の施行に伴い、「未病」や「ヘルスリテラシー」などの概念が新しく加わり、基本方針としての2つのめざす姿や4つの取り組みなどが明確化されましたが、現計画に定める「基本理念」や「全体目標」は、引き続きめざすべき重要な方向性であり、条例の方針とも合致するものです。

よって、計画の残りの期間（令和5年度～令和6年度）においても、計画の基本的な考え方（「基本理念」と「基本目標」）に基づきつつ、新たな概念や施策に対応する目標値を加え、進めていきます。

(1) 基本理念

市民一人ひとりが主体的に自分に合った健康づくりに取り組み、『誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり「未病予防対策先進都市」』の実現をめざし取り組みを進めます。

(2) 全体目標

少子高齢化が急速に進展し、要介護認定者数や医療費は増加する中、未病の段階からの健康づくりに取り組み、市民の主体的な健康づくりを推進することにより、生涯を通じて、心身ともに健やかに質の高い生活を送ることができるよう、「健康寿命の延伸」、「生活の質の向上」をめざします。

(3) めざす姿（基本方針）

①ヘルスリテラシーの向上

新たな感染症予防対策や病気になる前の段階からの未病予防対策等、様々な健康課題を解決するために、一人ひとりの健康状態が見える化し、食育の普及や現代医学、伝統医学等の多様な選択肢を提供します。そして、自分に合った健康づくりの選択、行動、継続を通じて、市民のヘルスリテラシーが高まっている状態をめざします。

②健康づくりを推進していく気運の醸成

乳幼児から高齢者まで、ライフステージ等に応じた主体的な健康づくりを、市、市民、教育機関等、地域活動団体、事業者、保健医療関係者の多様な主体の連携・協働により“地域全体”で支援し、健康づくりを推進していく気運が醸成されている状態をめざします。

(4) 施策と取り組み

従来から実施してきた生活習慣病対策としての取り組みと官民連携・市民共創による多様な選択肢づくりなどの新しい健康づくりの取り組みを掛け合わせ、①未病状態の気づきを促すための「健康状態の見える化」、②からだを整え実践するための「学びの場の充実」、③生涯を通じ、からだの健康を支える『食べる力』=『生きる力』を育むための「食育の推進」、④自分に合った健康づくりが見つかるよう「多様な選択肢づくり」の4つの取り組みをライフステージに沿って進めていきます。また、これら取り組みの土台となる「人材育成」、「情報発信」、「環境整備」についても、取り組みを進めていきます。

3. 新たな目標値の設定について

目標値については、現行の61項目に加え、新たに3項目を設定します。市民のヘルスリテラシーや未病予防に関する取り組みなど意識調査が必要な項目については、次期計画の調査結果を踏まえて目標の設定を行う予定です。

1. 健康状態の見える化

指標項目	現状値	目標値	備考
健康状態の見える化測定者数	1,406人 (R4)	2,500人	健康づくり課実施分

おでかけ保健室や健康チェック Day など、多様な測定を行い、未病状態の気づきにつなげます。

2. 食育の推進、環境整備

指標項目	現状値	目標値	備考
野菜たっぷりメニュー販売店舗数	—	6店舗	1食あたり120g以上の野菜メニュー市内販売店舗数

大阪府が認定するプレV.O.Sメニューを活用し、官民連携により野菜の摂取量を確保しやすい環境を整備することで、栄養バランスの取れた食生活につなげます。

3. 人材育成

指標項目	現状値	目標値	備考
健康づくりボランティア活動の参加者数	13人 (R4)	120人	市の指定する健康に関するボランティア活動を実施した延べ人数

